

指定都市市長会 第1回 こども部会

令和8年5月18日

こども部会のテーマおよび進め方（案）

メインテーマ

すべてのこどもの健やかな成長を支える社会に向けて

テーマ設定の背景

- 政府は、令和5年12月に「こども未来戦略」及び「こども大綱」を閣議決定し、「こども・子育て支援加速化プラン」の本格実施を進めるなど、子育て支援策の強化を図っている。これにより、児童手当の拡充や妊娠・出産期における支援の強化、出生後休業支援給付金の創設等、こども・子育て家庭に対する支援の裾野を広げる動きが進んでいる。
- 一方、指定都市では、核家族化、共働き世帯やひとり親世帯の増加、地域とのつながりの希薄化等により、社会的・経済的に困難を抱えるこどもや家庭が増加していることから、対応すべき課題も複雑化・多様化している。
- 人口減少時代を見据え、全てのこどもが安心して成長できる環境を確保し、地域社会全体でこどもの育ちと子育て家庭を支える持続可能な仕組みづくりが求められている。

こども部会のテーマおよび進め方（案）

論点①:子育てに課題を抱える家庭への支援

- 核家族化やひとり親世帯の増加なども背景として、家庭環境や経済状況などの事情により、こどもの健全な育ちの環境や学び・体験の機会が十分に確保できないなど、子育て家庭が抱える課題は多様化しており、個別ニーズに応じた様々な支援を提供することが求められる。

【キーワード】

体験格差に関する支援、こどもの貧困対策、虐待、ヤングケアラー、生活困窮世帯への学習・生活サポート 等

論点②:こどもの学び・育ちを支える多様な環境づくり

- 社会の変化による価値観の多様化なども背景として、不登校児童生徒数が増加していることなどを踏まえ、登校ができて学校での居場所に不安や悩みを抱えている児童生徒に対する支援の充実のほか、学校外において学習などの活動を行える場所・機会の確保等に関する支援が求められている。

【キーワード】

校内教育支援センター、教育支援センター、フリースクール、学びの多様化学校、ICTやメタバース等を活用した新たな学びの機会の確保 等

こども部会のスケジュール（案）

	日 程	内 容
R8	第1回 (R8. 5. 18)	<ul style="list-style-type: none"> ● 部会のテーマおよび進め方の確認 ● 論点①について議論
	第2回 (R8. 7. 22)	<ul style="list-style-type: none"> ● 論点②について議論 ● 論点に係る有識者の選定
	第3回 (R8. 11. 12)	<ul style="list-style-type: none"> ● 論点に係る有識者との意見交換 ● 提言文案の方向性の確認
R9	第4回 (R9. 5)	<ul style="list-style-type: none"> ● 国への提言文案の確定 <p>※会議終了後にメインテーマに係る提言活動実施（5月下旬～6月上旬頃）</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 第5、6回で議論するサブテーマ（追加論点）の選定
	第5回 (R9. 7)	<ul style="list-style-type: none"> □ サブテーマについて議論
	第6回 (R9. 11)	<ul style="list-style-type: none"> □ サブテーマについて議論 ● 活動総括

※提言活動以降の第5回・第6回では、提言取りまとめにおいて積み残した論点や、各構成市から提案のあったサブテーマ（追加論点）等について議論し、必要に応じて国への提言等を行う。

(1) 貧困・生活困窮への対応

：今回取組事業・課題を挙げた都市

<各市の取組から見るこども部会の課題認識>

◇貧困による学習・体験機会の格差解消

- ・学習支援、進学相談、生活サポート
- ・民間企業、NPOが行う活動の情報発信
- ・返還不要な奨学金の支給
- ・中途退学の未然防止
- ・習い事や塾費用の助成

仙台

静岡

大阪

岡山

◇貧困による困難に直面するこどもや家庭の発見

- ・教員、SC、SSWと福祉分野の支援員の連携
- ・スクリーニング

大阪

(2) 家庭環境が抱える課題の解決

：今回取組事業・課題を挙げた都市

<各市の取組から見るこども部会の課題認識>

◇こども家庭センター等と連携した家庭支援

名古屋

大阪

- ・ こども家庭センターとしての区役所の位置付け
- ・ こども家庭センターと学校や児童相談所との連携
- ・ 児童養護施設等の職員の支援力の強化（職員の定着支援）

◇ヤングケアラーの把握と支援

仙台

静岡

岡山

- ・ 実態調査の実施 ・ アンケート調査 ・ ヘルパー派遣
- ・ 大人（教員や民生委員児童委員等）とこども（小中高生等）への周知啓発
- ・ こども家庭センターや学校と連携したケアラー支援
- ・ 民間企業による自治体と連携した食支援

◇家庭外での居場所の確保

仙台

大阪

- ・ こどものためのサードプレイス事業
- ・ 繁華街周辺に集う若者に対する食糧や居場所の支援